

事業の概要

当社の事業は、ミニチュア・小径ボールベアリングやロッドエンド&スフェリカルベアリング及びピボットアッセンブリーを主要製品とする機械加工品セグメント(当期売上高比率40.7%)と、HDD用スピンドルモーターやファンモーター等の精密小型モーター、PC用キーボード、小型液晶用LEDバックライト等の光デバイス関連製品、及び計測機器を主要製品とする電子機器セグメント(同59.3%)により構成されています。

製品開発は、主に日本、ドイツ、タイ、米国で行っています。技術本部で中長期視野の基礎研究開発及び製品開発を、各事業部の技術開発部門ではビジネスに直結する製品開発を行い、各部門間の連携を通じ技術の補完と共有により、効果的な製品開発に努めています。生産はタイ、中国、シンガポール、マレーシア、日本、米国、英国で行っています。当社グループ最大の生産拠点であるタイの生産高が連結生産高に占める比率は当期48.4%であり、中国での生産高は22.8%、日本を除くアジア全体の生産高は80.8%、海外全体の生産高は91.0%です。

当社製品の主な市場は、PC及び周辺機器(当期売上高比率38.2%)、OA及び通信機器(同14.9%)、家電(同9.4%)、自動車(同9.6%)、航空宇宙(同9.4%)などです。これらのメーカーである当社の顧客は日米欧のほか中国を中心にアジアで生産を展開する企業が多く、当社の地域別売上高は日本を除くアジアが最も多く、連結売上高に占める比率は当期50.2%、次いで日本が多く25.0%、ほかには北米・南米と欧州となっています。

当社の組織は、機能的に活動できる体制を目的として14の事業部と5つの本部が社長直属の組織として構成されています。事業部は製造と営業が一体化した組織として担当事業の業績追求を行っています。また、本部は、各々の機能に応じて各事業部を横断的に側面から支援する組織です。

戦略の概要

当社は、精密部品の開発・生産・販売を事業領域として、「ものづくりで勝てる会社、技術で勝てる会社」を標榜し、発展と成長を目指しています。その実現のためには、収益力を向上させ、これをスピードを上げて果たすことが現在の当社の最大課題であると考え、1. 構造改革の断行、2. 技術開発の強化、3. 将来像を明確にした経営を当面の経営戦略課題として掲げ、取り組んでいます。

この目標のもと、当期は、1. 組織改革～事業部制の導入、本部の設置、2. 量から質へ、売上から利益追求への方針転換、3. 技術開発の強化～技術本部による統括、基礎技術部門の設置、4. 課題事業への対応を実施しました。組織改革により組織間の壁の排除とグループ内資源の有効活用が進み、各組織がベクトルを合わせて事業を展開しています。また、量より利益を優先する方針を明確にし、ものづくりへの取り組みを見直し徹底させることにしました。技術開発については、技術本部の下基盤が再構築されつつあります。新製品や新市場、及び次世代製品の開発に大切なのはコア技術の開発であることから、基礎技術の強化に重点を置き、複数のコア技術を複合化することで新しいビジネスの展開をはかっています。収益面で課題を抱えている事業については、早期の利益化を目指し最優先事項として対応しています。

当期中は課題事業の損失縮小と成長事業の基盤再構築に注力しましたが、来期は課題事業の黒字化と成長事業の拡大に向けて体制を整備します。製造の原点への回帰を徹底させ、製造技術の強化、技術開発の強化に力点を置き、新製品の開発及び新市場への展開をはかります。これらにより、再来期以降の当社の成長と発展につなげて参ります。